

県内高卒求人 過去最高3.54倍

8月末現在

秋田労働局は3日、来春卒業予定の高校生に対する県内求人倍率（8月末現在）を3.54倍と発表した。統計開始の1988年度以降、同時期として過去最高。

8月末現在の県内求人数は4555人で、前年同期を7.2%（304人）上回った。卸売・小売業と医療・福祉を除き、主な産業全てで昨年より増えた。

産業別では、製造業が15.6%（180人）増の1337人。電子部品や金属製品製造などの多くで1社当たりの求人が増加したことが要因。コロナ禍前の水準を超えた。

慢性的な人手不足の建設業は

5.4%（55人）増の1080人。宿泊・飲食サービス業は33.3%（45人）増の180人だった。

医療・福祉は9.7%（49人）減の457人。病院や福祉施設の事務や調理師、介護職などで募集が減った。

就職を希望する生徒の数は前年比2.9%（49人）減の1643人（5月15日時点）。このうち県内就職を希望する生徒は1287人。就職を希望する生徒全体に占める割合は78.3%で過去最高となっている。高校生への選考と内定は9月16日に始まった。

（神谷紗耶加）